

コース難易度(コース・グレード)及び引率者比率(ガイド・レシオ) < 参考表 >

下表は、無雪期における標高2千メートル内外の中級山岳及び標高3千メートル内外の山岳を対象として設定した、「コース難易度に対する引率者比率の目安」である。

| 難易度数 | コース難易度の内容 | 引率者配置の内訳 |
|------|--|--|
| 1 | 往復コース。 1日の歩行時間は3～4時間程度。 登山道は明瞭で、緩急は少なく、幅員も充分にある。転滑落の危険箇所が少ない。 | 参加者 20人～25人 (最大30人) 引率者 2名以上 (1:10～1:12 最大1:15) |
| 2 | 往復、周回、縦走コース 1日の歩行時間は5～6時間程度。 登山道は比較的明瞭で、緩急はあるが、幅員もある。転滑落の危険箇所が少ない。 | 参加者 20人～25人 引率者 2名～3名以上 (1:7～1:12) |
| 3 | 往復、周回、縦走コース。 1日の歩行時間は6～7時間程度。 登山道は比較的明瞭で、緩急があり、幅員が小さい箇所がある。転滑落の危険箇所が部分的にあり、一部に梯子やクサリ場がある。 | 参加者 18人～22人 引率者 2名～3名以上 (1:6～1:11) |
| 4 | 往復、周回、縦走コース。 1日の歩行時間は6～8時間程度。 登山道はやや明瞭を欠く部分があり、緩急が大きく、幅員も小さく、一部に梯子やクサリ場がある。転滑落の危険箇所が多い。 | 参加者 15人～20人 引率者 2名～3名以上 (1:5～1:10) |
| 5 | 往復、周回、縦走コース。 1日の歩行時間は6～8時間程度。 登山道はやや明瞭を欠く部分があり、緩急が極めて大きく、幅員も小さく、梯子やクサリ場が連続している。転滑落の危険箇所が頻繁にある。 | 参加者 15人～20人 引率者 3名～4名以上 (1:4～1:6) |

(「引率者配置の内訳」欄の括弧内対比数字は、引率者1名に対する被引率者の人数を示す)

(注釈)

1. 本表は、会員会社が定めるべきガイドレシオ決定のための参考資料である。
2. 本表の難易度1から5までにあたらぬコース内容の引率者配置については取扱会社において自主的に決定する。
3. ガイドライン本文第 章(1) に明記する「短時間で終了する標高差の小さいコースや低山での日帰りハイキング」はこの参考表には該当しない。ただし、いずれも緊急車両等が容易に進入できる地域ではないことを十分に勘案し安全対策を講ずるべきである。

注) 本ガイドレシオは平成18年1月1日から適用する。

(旅行業ツアー登山協議会 平成17年6月9日)